

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	特別職報酬等審議会事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	人材育成課			
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	伊藤 龍史			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	特別職・市議会議員	意図	給料及び報酬額の適正化を図る。
事業内容	特別職の給料及び市議会議員の報酬について、適正であるかを審議し、市長に答申する。特別職等の給料・報酬額については、行政側で一方向的に決定することができないため、公平な立場の人からの意見を反映する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和39年5月28日、自治省事務次官より特別職の報酬等について、第三者機関の意見を聞くことにより一層の公正を期する必要があるため、同審議会を設置するよう通知があった。そこで、流山市特別職報酬等審議会条例に基づき市内の公共的団体等の代表者及び公募委員（2名以内）10名を市長が委嘱し、その時宜の情勢に応じた適切な報酬等について審議している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	審議会の開催	1	0	0	回	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	H23. 12. 1	H28. 4. 1	
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1, 269, 600	274, 600	268, 480
事業費 (b) (円)	64, 800		
うち一般財源	64, 800		
職員給与費(c)(円)	1, 204, 800	274, 600	268, 480
人役・職員(人)	0. 16	0. 04	0. 04
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

市長 923, 700円 926, 500円  
副市長 797, 600円 800, 000円  
教育長 739, 100円 741, 300円  
管理者 715, 100円 717, 300円  
議長 546, 250円 547, 900円  
副議長 486, 650円 488, 100円  
議員 456, 900円 458, 250円

※審議会の答申を受け、平成28年4月に給料額・報酬額の引上げを実施した。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	平成28年度の給与額・報酬額の引き上げ以降諮問案件がなかったため、審議会の開催はない。	③取組の課題	諮問時には、時宜に合った明瞭で簡潔な資料作成に努める。
②今年度(H29)に実施した取組	平成29年度は特別職の給料及び市議会議員の報酬について諮問案件がなかったため、審議会を開催しなかった。	④今後(H30以降)の改善計画	審議会の役割の重要性を考慮しながら、事務の更なる効率化に努める。